カラー、ハナショウブの単収向上に向けた栽培改善

１　普及活動のねらい

早尾花卉組合 14 戸では全戸がカラー、10 戸がハナショウブを栽培している。これまでに、カラー、ハナショウブの単収増加に向けた栽培技術指針を策定し、指針に沿った栽培の実施を推進している。今年度は重点指導農家６戸（カラー３戸、ハナショウブ３戸）で栽培改善の実施を支援した。加えて、カラーの収量減の原因と考えられる夏季の株枯れ及び消耗を防止するため､寒冷紗設置を重点的に指導した。

２　普及活動の成果

栽培改善の提案項目は、指針からポイントとなる項目を抜き出して設定した。重点指導農家６戸への提案項目及び実施状況を表に示した。栽培指導により全戸で昨年度より改善できた項目が増加した。病害虫の防除やハナショウブのかけ流し期間の適正化など、指針に基づいた栽培管理を推進した結果、農家は適期に作業を進めることができたことに満足し、栽培改善による収量増加を期待している。カラーの寒冷紗設置農家数は昨年度の３戸から 10 戸に増加し、設置農家は株枯れ及び消耗の抑制効果と年内収量の増加を実感した。

表　提案項目及び実施状況

品目		カラー			品目	ハナショウブ		
対象者		A氏	B氏	C氏	対象者	D氏	F氏	G氏
提案項目及び実施状況	補植の実施	◎	×	○	かけ流し期間の適切な設定	◎	◎	○
	寒冷紗の設置	◎	×	◎	施肥の適切な実施	○	○	○
	摘葉の実施	○	○	○	改植の実施	×	○	◎
	施肥の適切な実施	○	○	○	換気の実施	○	○	○
	雑草対策の実施	○	○	○	病害虫防除の実施	○	○	○
	ｽｸﾐﾘﾝｺﾞｶﾞｲ対策の実施	○	○	○	雑草対策の実施	○	○	◎
	病害虫防除の実施	○	◎	◎				

◎：昨年度より改善して実施。○：昨年同様に実施。×：未実施

３　普及活動の内容

個別巡回及びアンケートにより昨年度の栽培管理状況を把握するとともに､今年度栽培改善が必要な項目を重点指導農家ごとに提案した。

個別巡回により農家ごとに栽培改善の実施を指導した。また、全体会で指針の説明と寒冷紗を用いた高温対策技術について説明を行った。



写真　寒冷紗を設置したカラー栽培施設

重点課題名 普及事項名	４　新技術導入・商品力強化による花き産地の育成 （２）　栽培技術指針に基づいた栽培によるカラー及びハナショウブの生産性向上